

令和2年度第8回
関東学生ホッケー連盟役員会
議事録

期日：2020年11月25日（水）

時間：19時00分～20時35分

会場：オンライン会議にて実施

出席者：一川邦彦、寺本祐治（以上副会長）、関谷淳一（監事）、久我晃広（理事長）、萬納宏俊、成田健一（以上副理事長）、宮澤哲郎（事務局長）、臼井伸一、桑原一矢、西澤英一郎、三澤孝康、栗原崇（以上常任理事）

森翔平（学連委員長）、松田和真（広報委員長）、飯塚美里（財務委員長）、渡邊珠子（表彰委員長）、山本真央（書記）、池田拓巳、井上稚比呂（学連委員）

古屋会長が欠席のため、一川副委員長が代行して開催を宣言。

【審議事項】

1. 今年のインカレの反省事項・今後の課題（事業報告内容の確認、また学生各委員からの報告）

- ・山本競技委員長が欠席のため、森学連委員長より、競技委員会の報告があった。
- ・備品準備に関して、例年問題になっているプリンター接続については、今年インカレ用のプリンターを2台購入し、各会場に設置することで対応した。大井会場での初日にPCとの繋ぎ方がわからないという問題が生じた（原因は前日準備で接続したPCと当日接続するPCが異なっていたため。次回以降の反省としたい）。
- ・印刷用紙については各会場200枚ずつ用意したが、4日目の朝に大井会場の紙がほとんどなく、追加で購入する対応をとった。会場での注意書き等で急遽紙が必要になることを考慮し、来年度は試合数に応じて購入枚数を考えていきたい。
- ・観客対応について、今大会では観戦防止策として無観客試合での開催となった。今年限りの例外的な対応で止むを得ない部分はあったが、次回も同様の対応となった場合は、入場許可者には色付きのリストバンドの装着など、工夫が必要との意見があった。
- ・会場設営については、駒沢会場の初日にて、インカレに先立ちリーグ戦を行った（8:30開場9:30試合開始）。テント設営やジャッジ準備席、ゴール・コーナーフラッグの移動などの作業が多く、設営に時間を要した。駒沢については、十分な人員の確保が必要。
- ・競技役員の宿泊場所については、今年は「ゆいっつ」を使用した。予め学生が付属施設等を確認し注意事項を伝達するなどの対応が必要。来年は宿泊先としっかりコンタクトを取り、注意事項を調べて競技役員に連絡する。
- ・松田広報委員長より、広報委員会の報告があった。
- ・広告協賛については、昨年度（冊子形式）の料金設定を引き継いだ。広告料の大きい「表紙裏」「裏表紙」の申し込みという概念が無く、PDF形式での広告協賛となったが、料金設定を工夫することにより収入を増やせたのではと感じている。
- ・各チームの金銭的負担を軽減するという観点から、関東学連所属の参加校に広告協賛金の納入を義務化しなかったが、任意で広告および協賛金の募集を行うべきだった。

- ・物品協賛について、東京サラヤ株式会社様から物品協賛としていただいたスポーツドリンクの粉の賞味期限がインカレ直後だった。予め、賞味期限を事前に確認するの必要を感じた。
- ・プログラムについて、立命館大学（女子）から優勝回数が間違っているとの指摘を受けた。該当ページは例年、前年度のプログラムのデータを参照する形で作成していたが、その昨年度のデータに誤りがあったことが判明した。立命館大学（女子）にはお詫びした上で、今後このようなことが起こらないよう、来年からは「インカレレコードランキング」と JHA インカレ特設ページ記載の「歴代記録」を称号し、間違いのないデータを引き継ぐようにしたい。
- ・チラシ・ポスターについて、大会協賛の一環としてチラシとポスターへロゴの掲載を協賛特典として検討してもらおうとしていたが、デザインの決定が遅くなり、検討してもらえなかった。来年は今年よりもデザインを早めに決定する必要がある。
- ・音響について、得点時に各チームに選択いただいた曲を流したことが好評だった。PC 時の曲も選曲したいという要望があった。著作権の問題もあり、来年は有料試合かどうかなどを見極めながら検討したい。
- ・渡邊表彰委員長より、表彰委員会の報告があった。
 - ・表彰物について、今年度は新型コロナウイルスの影響で開会式、監督主将会議がリモートで行われたため全てのカップを直接回収することができず、破損しているカップ（女子3位）があることに気づくのが遅かった。カップとカップケースを預かった時点で直ちに破損がないかの確認する必要がある。
 - ・優秀選手投票について、投票システムの説明不足で学連委員を混乱させてしまったまた、投票用紙の管理も甘かったため、来年度はこのようがないようにマニュアル化させたい。
 - ・表彰式について、準備にかなり時間がかかってしまい、選手や役員の方を待たせてしまった。表彰式についてもスムーズに運営できるようマニュアル化する必要がある。また挨拶いただく方（TD への説明が漏れていた）への事前説明も徹底したい。
 - ・インカレ期間中に掲げる JHA、JOC、JADA、読売新聞社から借りた側の返送場所を間違えてしまった。事前に返送場所を把握し、混乱のないようにする必要があった。
- ・飯塚財務委員長より、財務委員会の報告があった。
 - ・今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止策として、役員への日当は手渡しではなく振込で行なった。大会が終わると同時にいつまでに振り込むかを皆様に連絡することを徹底する必要があった
- ・西澤常任理事（大会 TD）より、怪我人対応について、基本は救急車搬送だが、看護師判断により救急搬送の必要が無いと判断された場合は、チームでの対処が原則である旨の説明があった。

2. 来年度の委員長・副委員長について

- ・森学連委員長より、2021 年度関東学生ホッケー連盟委員長・副委員長について報告があった。12 月に行われる学連会議にて決議をとり、総会での承認を経て正式に就任となる。

委員長 慶應義塾大学 池田拓巳

副委員長 学習院大学 田平 龍哉

副委員長 学習院大学 柳 彩音

3. 来年のインカレ日程、会場など（来年インカレは男子 70 回となるが、記念大会としての対応など）
- ・久我理事長より、来年のインカレについての報告があった。来年のインカレで大井ホッケー競技場の利用は不可である。代替の会場はどうするのか、また来年のインカレは男子 70 回大会となるが、記念大会にするべきかの 2 点について協議が行われた。
 - ・一川副会長より、来年の 10/30～11/3 に駒沢会場を予約済との報告があった。
 - ・一方で、今年のインカレ参加チームから、「駒沢はウォーターベースではなく、プレーの質が下がる」との意見があり、駒沢を中心とした大会開催については異論があるとの意見があった。
 - ・寺本副会長より、山梨学院のグラウンドは無観客であれば開催可能と。同様に、都内大学のグラウンドを利用できるか、今後のコロナ動向を踏まえ、確認していく必要があるとの意見があった。
 - ・以上の協議を踏まえ、関東学連としてインカレ開催の場合、「都内大学のグラウンドを利用して開催」もしくは「山梨学院グラウンドを利用しての開催」の方向で、日学連役員会にて協議することとした。
 - ・男子 70 回大会記念大会については、現状はグラウンド確保もままならない状況であり、記念大会についての議論に至らず。

【報告・連絡事項】

1. 今後の日程

- ・森学連委員長より、1/16(土)に開催予定の引き継ぎ会議はリモートで開催する検討にあることが報告された。その他、1月役員会、2月総会もリモートで開催する方針を確認した。

2. その他

- ・臼井常任理事より、新入生の入部状況について調査の必要があるとの提言があった。現時点での新入生の部員数調査、勧誘方法の共有することが提案され、実施することとした。近日、設問内容を確認した上で行われる予定。
- ・久我委員長より、秋季プログラム表紙について、プログラムの表紙が加工されているとの指摘があった。制作会社に問い合わせることが確認された。
- ・西澤常任理事より、秋季学生リーグ運営について、新型コロナウイルス感染拡大防止策について参加各チームにより認識に差がある。今週末でリーグ戦は終了するが、最後まで注意するようとの指摘があった。

以上

(押印略)

関東学生ホッケー連盟副会長 一川邦彦

関東学生ホッケー連盟理事長 久我晃広

関東学生ホッケー連盟学連委員長 森翔平